

令和6年度
事業報告書

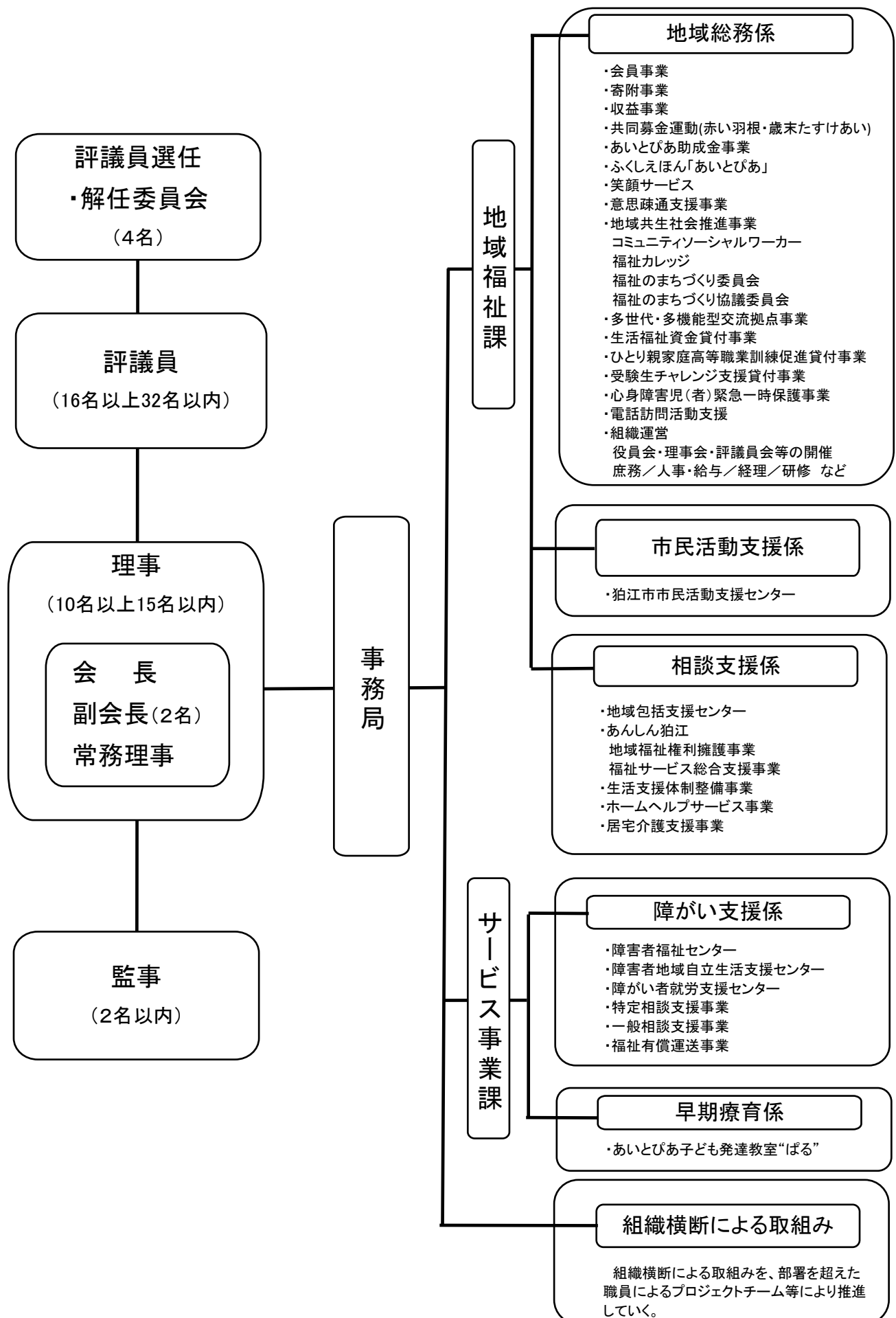
社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会

目次

■令和6年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会組織図	1
■令和6年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告	
総括	2
(重点事業)	
1 地域のことを考えて活動したい人を生み出し、支えます	
2 避難行動要支援者が安心して生活できる地域をつくります	
3 新しい活動がわきあがるような起爆剤となる仕組みを検討します	
■令和6年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告	
(地域福祉課地域総務係)	
会員事業	11
寄附事業	11
収益事業	11
共同募金運動	11
あいとびあ助成金事業	12
ふくしえほん「あいとびあ」	12
笑顔サービス	12
意思疎通支援事業	13
地域共生社会推進事業	15
多世代・多機能型交流拠点事業	15
生活福祉資金貸付事業	15
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	16
受験生チャレンジ支援貸付事業	16
電話訪問活動支援	17
心身障害児(者)緊急一時保護事業	17
理事会等の開催	17
情報発信	17
労働安全衛生関係	17
(地域福祉課市民活動支援係)	
市民活動支援センターこまえくぼ1234	18
(地域福祉課相談支援係)	
地域包括支援センター	20
あんしん狛江	21
生活支援体制整備事業	22
ホームヘルプサービス事業	22
居宅介護支援事業	22
(サービス事業課障がい支援係)	
障害者福祉センター	23
障害者地域自立生活支援センター サポート	23
障がい者就労支援センター サポート	24
特定相談支援事業	26
一般相談支援事業	26
福祉有償運送事業	26
(サービス事業課早期療育係)	
あいとびあ子ども発達教室“ばる”	26
(プロジェクトチーム等)	
小地域福祉活動の推進	26
災害時の対応	27
おたのしみスローショッピング事業(試行事業)	28
地域福祉活動計画の推進	28
フロア改修の検討	28
人材育成・人事評価制度等の検討	28
広報活動	29
(その他)	
狛江市社会福祉法人連絡会への参画	29
実習生受入れ	29

※事業報告書は、定款第39条に定める「事業報告の附属明細書」の内容を含んでいます。

令和6年度 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会 組織図



令和 6 年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告

令和 6 年度基本方針

令和 6 年度は、第 4 次地域福祉活動計画の実施初年度にあたります。

地域福祉活動計画の策定にあたっては、地域住民意識調査などに基づく現状の地域課題の分析や福祉専門職との懇談会、狛江市地域福祉活動計画策定委員会、実務委員会での検討、地域住民懇談会による地域住民の意見の募集などを行い、地域の様々な声を計画に反映させました。計画では、狛江市を取り巻く社会状況を踏まえ、地域住民として進めていきたい課題を整理し、5 年間で取り組むべき戦略として「5 年後の『こまえのまち』をデザインするために みつける力 つなげる力 新しいことをつくる・そだてる力 で地域の想いをカタチにします」を掲げ、戦略を実現するための行動指針として、次のとおり 7 つのチャレンジを掲げました。

【第 4 次地域福祉活動計画に掲げる 7 つのチャレンジ】

- 1 地域のみつける力を高める
- 2 地域の財産を積極的に見つけに行く
- 3 地域のつなげる力を高める
- 4 福祉にとどまらない地域の財産とのつながり、つなげる仕組みを作る
- 5 新しい地域を「デザイン」する
- 6 新しい活動がわきあがる地域力を高める
- 7 地域の力を高める存在を支え、そだてる

同時に、7 つのチャレンジにおいて複数の取組みを複合的に実施していく具体的な方策を展開プロジェクトとしてまとめ、地域福祉活動計画に掲げる 5 つの重点項目のうち、令和 6 年度は 3 つを重点事業と位置づけ、推進に取り組みます。

また、計画を推進し、計画の基本理念「一人ひとりが主役となって、誰もが安心して暮らせるまち」を実現するため、次のとおり当会の「人づくり・組織づくり」を開始します。

【狛江市社会福祉協議会の人づくり・組織づくり】

- 1 職員一人一人が地域でいきいき活躍し、成長できる人づくり（計画的な人材育成）
- 2 狛江社協全体が一丸となって福祉のまちづくりに取り組む組織づくり（組織横断型の共同プロジェクトチーム編成）
- 3 社会の変化に伴う地域のさまざまな課題に積極的に取り組む人づくり・組織づくり（地域担当制の導入検討）

なお、令和 6 年度、当会は昭和 49（1974）年 12 月 4 日の社会福祉法人化から 50 年となる節目の時を迎えます。本年 12 月に記念式典を実施します。

◆総括◆

令和6年度は第4次地域福祉活動計画の実施初年度であり、重点としている展開プロジェクトについて以下のように取り組みました。

「人づくり・組織づくり」については、地域福祉活動計画策定委員会の作業部会として設置したプロジェクトチームを中心に新たな研修などの取り組みを始めています。

人や組織の成長に関わる分野ですので、時間をかけながら取り組みを継続し、地域福祉活動計画推進委員会を通じて成果を検証してまいります。

「地域のことを考えて活動したい人を生み出し、支える」については、これまでの福祉カレッジ「基礎講座」に加え、新たに「ステップアップ講座」を実施し、障がい分野を取り上げました。

修了生が取り組みを始める活動が期待されます。

「避難行動要支援者が安心して生活できる地域づくり」については、狛江市地域自立支援協議会当事者部会に呼びかけ、障がい当事者が地域の支援者との懇談会及び福祉避難所開設訓練の参加につなげました。参加者側、受け手側ともに貴重な機会となりました。

「新たな助成金の仕組みづくり」については、助成金の財源となる募金の期間を拡大し、寄付額の増額につなげました。

また、法人化50周年の節目にあたり次のように記念事業を実施しました。

日 時 令和6年12月15日（日）

午前10時30分から午後4時20分まで

会 場 エコルマホール（狛江市民ホール）

内 容

（1）記念式典

来場者 227名

（2）記念講演会

<第1部>

講 師 笠井 信輔さん

テーマ 「足し算で生きる～がんステージ4からの生還」

来場者 341名

<第2部>

時 間 午後3時～午後4時20分

講 師 小谷 実可子さん

テーマ 「あくなき挑戦～生涯現役を目指して」

来場者 252 名

(3) 記念誌及び記念品の制作

冊子 1,000 部、デジタルブック（周知用チラシ 2,500 部）

折りたたみマイバッグ 2,400 枚、フリクションボールノック 780 本

(4) 関連イベント

「第6回こまえくぼ 1234 フェスティバル」

会 場 えきまえ広場

来場者 1,793 名



◆重点事業◆

重点事業 1

地域のことを考えて活動したい人を生み出し、支えます（福祉カレッジ基礎コース・専門コースの実施）

地域共生社会を推進していくために、ボランティア活動や市民活動など、市民が行う地域課題を解決する取組みが求められている中、当会で行っている、地域福祉の担い手育成事業である「福祉カレッジ」に関しては、より専門的な知識を学びたいという意欲的な意見や、福祉カレッジ修了後に地域活動につながりやすかったという課題がありました。令和6年度は、こうした課題を踏まえ、新たに求められる地域福祉の担い手の育成とあわせて、担い手を支えていくことを重点にプログラムを改正しました。

具体的には、令和6年度は「基礎講座（全7回）」に加えて、新たに「ステップアップ講座（全7回）」を新設し、2コースでプログラムを実施しました。

基礎講座では、新たな地域福祉の担い手になる市民が、気軽に参加できる内容で、横断的な福祉課題に触れることができるようプログラムを作成しました。具体的には「外国籍の方」、「ひきこもり」、「認知症」などのテーマを扱い、当事者や支援者からの話を聞くことによって、自らの気づきやそれを行動につなげていけるようにプログラムしました。

さらに、外部講師に加えて、CSWと狛江市市民活動支援センターが連携して、参加者の「やりたい」という思いが、実際の活動につながるよう支援を行い、修了後の地域活動にもつながりました。

ステップアップ講座は、2年毎にテーマを変えて実施する予定です。令和6年度は「障がい分野」に特化したプログラムとしました。令和6年度基礎講座の修了生だけでなく、過去の修了生にも呼びかけをし、地域活動の実践につながると共に、専門的知識も養えるプログラムとしました。

またプログラム実施にあたっては、社協内の他部署とも連携を図りながら地域の人材育成を行うため、サポート（地域自立生活支援センター・就労支援センター）とプログラムの作成から検討をしました。その結果、サポートだけでなく、関係する当事者の方・団体などにも協力をいただき、より参加者に実情や課題がより伝わる内容となりました。今後も、テーマ性を持ったプログラムを展開することで、地域福祉の担い手の養成していきます。

（1）福祉カレッジ 2024 基礎講座

福祉カレッジ基礎講座は、全7回（8月24日から11月2日）実施し、16名が参加し、14名が修了しました。（※詳細は「基礎講座のプログラム」を参照）

修了後には、受講生が最終回で立案した企画案の実現に向けて、修了生有志が集まり、CSWの支援を受け企画を実施しました。

今後は、この修了生有志メンバーが中心となり、市民団体として地域活動を展開していく予定です。

■基礎講座のプログラム（16名受講／14名修了）

回	日程	内容	講師
第1回	8月24日	前半は受講生同士で自己紹介をし親睦交流を図る交流タイムを行う 後半は障がい当事者の方から生活や、暮らしやすい地域をつくるための視点を学ぶ	高江洲幸男氏（社会福祉法人もくば会・八王子地域生活支援室高尾 相談支援専門員）
第2回	8月31日	前半はコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の役割と実践事例について学ぶ 後半は市民活動支援センターの概要について学ぶ	3エリア CSW（狛江市社会福祉協議会） 大山寛人（市民活動支援センター）
第3回	9月7日	地域で暮らす外国人の現状を知るとともに、外国人を支える地域活動を学ぶ	新居みどり氏（NPO 法人国際活動市民中心 CINGA） 檜垣寿子氏（NPO 法人こまえにほんごしえん・日本語スクール） 外国人当事者2名
第4回	9月28日	不登校や若者のひきこもりの支援に関わる実践事例から、生きづらさを抱えた子ども若者の現状を学ぶ	喜々津博樹氏（カウンセリングサロンぱすてる）
第5回	10月5日	ひきこもりの当事者やその支援者の話を聞き、地域住民の視点で、できることを学ぶ	市川乙允氏（NPO 法人楽の会リーラ） ひきこもり当事者1名
第6回	10月12日	認知症について正しく理解を深め、自分や家族が認知症になっても、暮らしやすい地域であるためにできることを学ぶ	永田久美子氏（認知症介護研究・研修東京センター）
第7回	11月2日	まとめ・発表 修了式	

■基礎講座のプログラムの様子



グループワークの様子



講義の様子

■基礎受講生による地域課題についての発表（最終回） ※一部抜粋



(2) 福祉カレッジ2024 ステップアップ講座

ステップアップ講座には9名が参加し、全員が修了しました。講座は12月7日から3月1日までの間に、全7回実施しました。

修了後は、基礎講座と同様に最終回で立案した企画案の実現や地域課題の解決に向けて、有志の修了生が集まり、団体化、障がい福祉に関わる地域課題解決を目指して活動を進めていく予定です。

■ステップアップ講座のプログラム（9名受講・修了）

回	日にち	内容	講師
第1回	12月7日	前半は受講生同士で自己紹介をし、親睦交流を図る交流タイムを行う 後半は障がい者差別解消法について学び、差別偏見のない暮らしやすい地域をつくるための視点を学ぶ	高江洲幸男氏（社会福祉法人もくげ会・八王子地域生活支援室高尾 相談支援専門員） 又村あおい氏（全国手をつなぐ育成会連合会）
第2回	12月14日	精神障がいと発達障がいについて、専門家と当事者からの話を聞き、暮らしやすい地域をつくるための視点を学ぶ	柳田寿子氏（医療法人社団大坪会 小石川東京病院） 高野由佳氏（公益財団法人神経研究所東京都発達障害者支援センターおとなTOSC A） 精神障がい者当事者1名
第3回	1月11日	身体障がいと知的障がいについて、専門家と当事者からの話を聞き、暮らしやすい地域をつくるための視点を学ぶ	山本良典氏（東京都心身障害者福祉センター） 佐々木信行氏（オフィスのぶ企画）
第4回	1月25日	障がい者の日常生活や余暇活動を支援する当事者団体から、団体活動の内容について学び、地域住民としてできることを学ぶ	並木ヒロ子氏（視覚障害当事者団体オレンジボール） 三島瑞子氏（精神障がい者当事者団体まえちゃんのびあ） 加藤智美（鮎江市障害者地

			域自立生活支援センター)
第5回	2月1日	障がい者就労支援センターの概要、障がい者就労の現状について、当事者の経験談から学ぶ	加藤智美（狛江市障害者就労支援センター） 当事者2名
第6回	2月8日	前半は障がい者の生活を支える相談支援専門員から、ライフステージに沿った支援の状況について学ぶ 後半はこれまでの学びを基にグループを作り、最終回の発表に向けた準備を行う	森田純司（狛江市障害者地域自立生活支援センター） 高江洲幸男氏（社会福祉法人もくば会・八王子地域生活支援室高尾 相談支援専門員）
第7回	3月1日	まとめ・発表 修了式	

■ステップアップ講座プログラムの様子

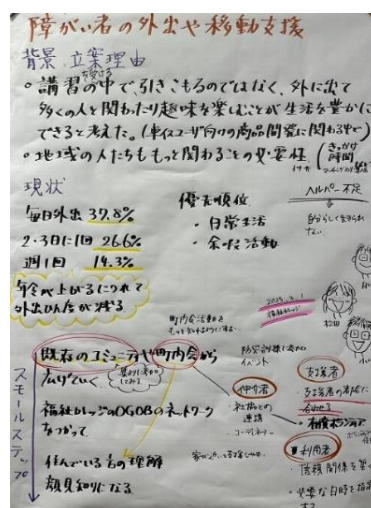
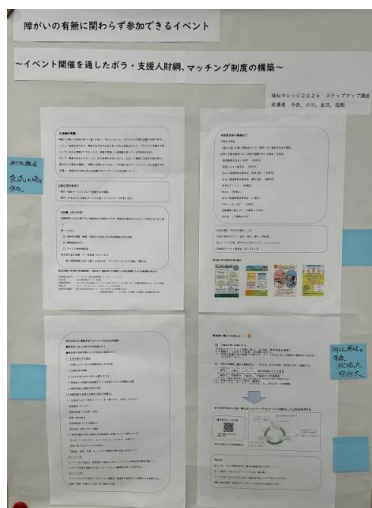


グループワークの様子



最終回の発表の様子

(3) 受講生の最終回の地域課題についての発表



重点事業 2

避難行動要支援者が安心して生活できる地域をつくります（避難行動要支援者が参加しやすい防災訓練の仕組みづくり）

災害対応検討プロジェクトを中心に、障がい者と地域の支援者の懇談会、障がい者の移送支援を含めた福祉避難所等開設訓練への参加、市民向けの防災に関する講座等を行いました。

障がい者と地域の支援者の懇談会は、市内に住む障がい者と民生委員や青年会議所の方に集ってもらい、災害が起きたらどうするか、どんな助けが欲しいか、日ごろの防災訓練に対する意識等について障がい者から自身の思いや考えを述べてもらい、それに対してみんなで意見や考えを出し合いました。

障がい者からは「助けが欲しくても知らない人に声をかけられたらパニックになる」「自分の障がいを近所の人に言ってもいいのかためらってしまう」「避難訓練とかがあってもそこまで行くことができないので連れて行ってほしい」という意見がありました。

感想として「私たちのことを知ってもらうことができてよかった」や「またやりたい」という声が聞かれたほか、民生委員や青年会議所の方からは「障がい者の生の声を聴くことができて良かった」や「地域の防災訓練をこれまでやってきたが、障がい者等の参加は無く、やった気になっていた」といった声が聞かれました。



重点事業 3

新しい活動がわきあがるような起爆剤となる仕組みを検討します（新たな助成金の枠組みづくり）

令和6年度は、寄附事業・助成事業担当職員、市民活動支援センター担当職員及びコミュニティソーシャルワーカーによる「助成金・寄附検討プロジェクトチーム」において、助成金、寄附及び活動支援に関して、各取組みの課題を整理し、検討を行いました。

助成金については、新たな活動への支援につなげるための変更が必要であることを確認しました。

助成金の財源となる募金活動については、従来の募金期間を拡大し、街頭募金の機会を増やすことで募金実績の増額につなげました。

寄付金については、市民がより気軽に寄附ができるように、現物寄附に関する運用について改正するとともに、これまで在宅福祉事業等に活用することを目的に設置してい

た「あいとびあ基金」を見直し、新しい福祉活動を支援することができるよう改正を行いました。

また、新しい市民活動の立上げ支援に関する取組みとして、助成金の仕組みとその活用を学び立上げの実際について聞く講座「ここがポイント やりたいことをカタチにする術」を実施し、14名が参加しました。

◆実施事業◆

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課地域総務係		
会員事業		
①社会福祉協議会会員制度		
○会費収入 2,790,000円【2,911,000円】		
※1,000円単位で任意の増額あり		
・つつじ会員（1口 1,000円） 1,504件【1,679件】		
・いちよう会員（1口10,000円） 72件【69件】		
・さくら会員（1口 30,000円） 14件【13件】		
○会員増強月間の取組（7月）		
・協力委員等による個別訪問の実施		
・前年度会員等へのダイレクトメール送付		
・社協だより200号での入会案内（払込取扱票の添付）（6/30発行 44,500部）		
・地域センター等へのパンフレット設置		
②会員制度協賛店事業		
○協賛店登録数 66店【68店】		
寄附事業		
○一般寄附金（物品寄附を含む） 64件 621,495円【78件 1,652,088円】		
○指定寄附金		
・誕生日募金 4件 19,100円【4件 26,190円】		
・その他の指定寄附金収入 36件 925,573円【11件 164,253円】		
収益事業		
①こまちゃんタオルハンカチの販売		
101枚（うち34枚は景品等として使用するため内部販売）【60枚】		
（大）クリーム 30枚、ライトピンク15枚、ピンク11枚、ブルー11枚		
（小）ピンク20枚、ライトブルー14枚		
②こまちゃんTシャツの販売 1枚【3枚】		
③こまちゃんぬいぐるみの販売		
69個（うち21個は景品等として使用するため内部販売）【新規】		
④社協だよりへの広告掲載 1枠【6枠】		
⑤ホームページへの広告掲載 2件【1件】		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
地域福祉の推進を目的とする「共同募金」の一環として次の運動を実施した。		
①赤い羽根共同募金運動（10/1～11/17）		
募金総額 713,485円【543,324円】		
※東京都共同募金会狛江地区協力会として実施		
街頭募金実施回数 4回【3回】		
参加団体数及び人数 7団体 94人【7団体 60名】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課地域総務係		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
②歳末たすけあい運動（12/1～12/31）		
募金総額	2,344,351円	【2,243,337円】
街頭募金実施回数	3回	【2回】
参加団体数及び人数	3団体 44人	【5団体 22名】
あいとぴあ助成金事業		
＜助成団体＞		
○施設・団体等		
狛江市老人クラブ連合会、特定非営利活動法人えるぶ/スペースえるぶ		
NPO法人バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」、タルトタタン		
特定非営利活動法人ハッピーライフフォーエバー		
	助成額 5団体 450,000円	【8団体 592,240円】
ふくしえほん「あいとぴあ」		
①ふくしえほん		
○ふくしえほん「あいとぴあ」の発行		
市内幼稚園及び保育園に通う5歳児641名に配付【678名】		
○活用委員会	4回	【4回】
○担当職員研修会	3回	【3回】
・第1回（5/22）	講義 水辺の楽校について	
	講師 狛江水辺の楽校運営協議会 竹本久志さん	
	令和5年度福祉教育研究園による取組報告	
・第2回（10/2）	講義・体験 狛江市ビン・缶リサイクルセンターの見学	
	ごみを減らそう 未来のために	
	講師 狛江市環境部清掃課 職員	
・第3回（1/15）	福祉教育研究園による取組みの報告	
○福祉教育研究園		
指定園 狛江ちとせ保育園		
②保育園及び幼稚園との連携		
体験、見学、コーディネート等の相談	18件	【17件】
笑顔サービス		
①サービス実績等		
○利用会員登録数	272名	【257名】
○協力会員登録数	66名	【77名】
○新規利用相談件数	94件	【82件】
○サービス提供件数	4,039件	【4,206件】
○サービス提供時間	5,394時間	【5,869時間】
○笑顔のひろばの発行（会員向け広報紙）	4回	【4回】

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課地域総務係		
笑顔サービス		
②説明会・研修等 ○協力会員募集説明会 5回【7回】 ○協力会員新任研修 4回【6回】 ○協力会員現任研修 2回【2回】 ・防災セミナー ～災害への備え・避難所生活で役立つ技術～ (7/8) 参加者 11名 講師 日本赤十字社東京都支部 救護課 椎名氏・櫻田氏 ・防災セミナー カードゲーム ひなんじょたいけん (10/7) 参加者 7名 講師 日本赤十字社東京都支部 救護課 櫻田氏・川田氏・古川氏 ③事業の周知 ○協力会員募集ポスターの掲示・チラシの設置 市内掲示板、こまえくぼ1234、地域センター、公民館、市民総合体育館、 イトーヨーカドー国領店、OKストア中和泉店、ふらっとなんぶ、セブンイレブン 狛江和泉本町4丁目店、セブンイレブン狛江中和泉5丁目 10回【10回】 ○社協だより掲載 全戸配布 ○市内転入者へのチラシ配布 3,000部【3,000部】 ○X（旧公式ツイッター）による情報発信 10回【8回】 <訪問型サービスB> ※市委託事業 サービス実績等 ○利用者登録数 6名【6名】 ○活動者登録数 66名【77名】 ※笑顔サービス協力会員と重複 ○新規利用相談（問合せ含む） 1件【0件】 ○サービス提供件数 252件【333件】		
意思疎通支援事業 ※市委託事業		
①通訳者の派遣 ○派遣件数 手話通訳 346件（うち26件は事業内派遣）【374件】 要約筆記 28件（うち12件は事業内派遣）【34件】 ○登録通訳者 手話通訳 24名【25名】 要約筆記 28名【24名】 （うち7名は手書きのみ、13名はPCのみ、4名は手書き・PC両方） ②運営・スタッフ会議 ○手話運営委員会 6回【6回】 ○手話講習会スタッフ会議 3回【3回】 ○要約筆記運営委員会 6回【6回】 ○要約筆記講習会スタッフ会議 2回【2回】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課地域総務係		
意思疎通支援事業 ※市委託事業		
③通訳者研修 ○手話通訳者研修会 12回【12回】 ・4/6 あいとぴあセンター 講師 高井 洋 氏（東京手話通訳等派遣センター） ・5/16 あいとぴあセンター 講師 中島 純子 氏（東京手話通訳等派遣センター） ・6/12 あいとぴあセンター 講師 安田 育子 氏（東京手話通訳等派遣センター） ・7/27 あいとぴあセンター 講師 佐野 立太郎 氏（手話教師センター） ・9/27 あいとぴあセンター 講師 佐野 立太郎 氏（手話教師センター） ・10/22 あいとぴあセンター 講師 八百谷 梨江 氏（手話教師センター） ・11/29 あいとぴあセンター 講師 八百谷 梨江 氏（手話教師センター） ・1/21 あいとぴあセンター 講師 佐伯 富美子 氏（東京手話通訳等派遣センター） ・2/1 あいとぴあセンター 講師（市内の聴覚障がい者） ・2/8 あいとぴあセンター 講師 舘脇 千春 氏（日本聴覚障害SW協会） ・3/6 あいとぴあセンター 講師 河野 光子 氏（東京手話通訳等派遣センター） ・3/22 あいとぴあセンター 講師 江草 尚美 氏（東京手話通訳等派遣センター） ○要約筆記者研修会 8回【8回】 ・5/22 あいとぴあセンター 自主研修 ・6/21 あいとぴあセンター 狛江市高齢障がい課・狛江市社会福祉協議会職員 ・8/23 あいとぴあセンター 自主研修 ・9/14 あいとぴあセンター 井上 恭子氏・関根 陽子氏（神奈川県登録要約筆記者） ・10/25 あいとぴあセンター 自主研修 ・11/9 あいとぴあセンター 講師 小瀬村 和子 氏（神奈川県登録要約筆記者） ・2/8 あいとぴあセンター 講師 舘脇 千春 氏（日本聴覚障害SW協会） ・3/22 あいとぴあセンター 自主研修 ④通訳者養成講習 ○手話講習会 ・初級コース 受講生19名 修了生18名 【申込者19名 修了生18名】 ・中級コース 受講生18名 修了生17名 【申込者6名 修了生5名】 ・上級コース 受講生6名 修了生6名 【申込者6名 修了生5名】 ・養成コース ※養成コースは過去の修了者を受け入れて実施 受講生7名 修了生3名 【申込者11名 修了生3名】 ○はじめて学ぶ手話教室【手話入門講座】 ・全5回 【5回】 受講者12名 【11名】 ○手話通訳者全国統一試験フォローアップ講座 ・全7回 【5回】 受講生9名 【10名】 ○要約筆記講習会＜パソコン要約筆記講習会＞ ・受講生2名 修了生 1名 【申込者7名 修了生7名】 ○要約筆記講習会フォローアップ研修＜パソコン要約筆記＞ ・受講生1名 修了生 1名 【申込者6名 修了生 6名】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課地域総務係		
地域共生社会推進事業 ※市委託事業		
①コミュニティソーシャルワーカーの配置 ○個別支援 相談対応実数115名、相談対応延1,061回【131名 1,282回】 ○地域支援 相談対応実数46件、相談対応延1,366回【53件 1,414回】 ○スーパービジョン 2回【3回】 ②福祉カレッジの開催 ○日程 8/24～11/2 基礎講座全7回、12/7～3/1 ステップアップ講座全7回 ○会場 あいとぴあセンター ○内容 基礎講座は障がい、多文化共生(外国人問題)、CSW、ひきこもりの理解など。ステップアップ講座は、障がい福祉分野の専門的かつ実践的な内容の講義を行う。障害者差別解消法、精神障がい、発達障がい、障がい者就労の理解など。 ○受講生 基礎講座16名【15名】 ステップアップ講座名9名【令和6年度新規】 ○修了生 基礎講座14名【15名】 ステップアップ講座名9名【令和6年度新規】 ③福祉のまちづくり委員会の設置 ○こまえ苑エリア 委員会いこいねっと 定例会6回開催、役員会4回、その他企画1回【定例会5回、役員会5回、研修会1回】 ○あいとぴあエリア 和泉手つなぎ会 定例会6回開催、代表副代表会5回、その他企画1回 【定例会6回、代表副代表会5回、研修会・その他企画1回】 ○こまえ正吉苑エリア のがわのわ 定例会9回開催、研修会2回 【定例会12回】		
多世代・多機能型交流拠点事業 ※市委託事業		
○開所日数 256日【248日】 ○利用者数 6,959名【5,931名】 ○アウトリーチ回数 1045回【634回】 ○サポーターズミーティング 1回【1回】		
生活福祉資金貸付事業 ※東社協委託事業		
<生活福祉資金> ①相談件数 1,133件【722件】 <内訳> ○新規貸付相談 64件【72件】 ○継続貸付相談 479件【461件】 ○償還関係 543件【154件】 ○その他 47件【35件】 ②貸付決定件数・金額 2件 15,346,000円【8件 11,216,000円】 <内訳> ○福祉資金 0件 0円【4件 684,000円】 (内訳詳細) ・福祉費 0件 0円【1件 412,000円】 ・緊急小口資金 0件 0円【3件 272,000円】		

課・係	事業内容		【 】内は令和5年度実績	
地域福祉課地域総務係				
生活福祉資金貸付事業 ※東社協委託事業				
○教育支援資金	1件	2,466,000円	【3件	2,552,000円】
(内訳詳細)				
・教育支援費	1件	2,466,000円	【2件	2,052,000円】
・就学支度費	0件	0円	【1件	500,000円】
○総合支援資金	0件	0円	【0件	0円】
(内訳詳細)				
・生活支援費	0件	0円	【0件	0円】
・住宅入居費	0件	0円	【0件	0円】
・一時生活再建費	0件	0円	【0件	0円】
○要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1件	12,880,000円	【1件	7,980,000円】
<新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付>				
①相談件数				
○償還相談		422件	【358件】	
※申請受付は、令和4年9月で終了				
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 ※東社協委託事業				
貸付決定件数及び決定額の内訳				
○入学準備金	0件	0円	【0件	0円】
○就学準備金	0件	0円	【0件	0円】
○住宅支援資金	1件	480,000円	【0件	0円】
受験生チャレンジ支援貸付事業 ※市委託事業				
①相談件数				
○新規貸付相談	60件	【50件】		
○継続貸付相談	407件	【485件】		
○償還相談	75件	【74件】		
②貸付決定件数及び決定額				
○塾代	28件	5,326,600円	【32件	6,072,700円】
○受験料	33件	1,236,800円	【41件	1,702,600円】
③事業の周知				
○市内の学習塾へパンフレット配付等	24校	【21校】		
○中学校を通したマチコミメールでの周知				
○市報、社協だよりへの掲載				
○公民館・地域センター等へのチラシの設置				
○商業施設へのチラシの掲示				
○都営粕江アパートへのチラシの掲示				
○社協ホームページ、ツイッターへの掲載				
○過去の利用者へのご案内送付				

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績																					
地域福祉課地域総務係																							
	電話訪問活動支援 ※「狛江電話訪問はとの会」が行う、高齢者の見守り活動を支援																						
	「狛江電話訪問はとの会」は、高齢者等に電話をかけお話し相手や安否確認を行うことを通して、孤独の解消や見守りを目指している。																						
	心身障害児（者）緊急一時保護事業 ※市委託事業																						
	○実施件数 114件【130件】 <内訳> <table border="0"> <tr> <td>介護形態別内訳</td><td>登録介護人によるもの</td><td>101件</td></tr> <tr> <td></td><td>協力施設によるもの</td><td>13件</td></tr> </table> ○利用登録者 77名【74名】 <内訳> <table border="0"> <tr> <td>障がい別</td><td>身体障がい</td><td>11名</td></tr> <tr> <td></td><td>知的障がい</td><td>44名</td></tr> <tr> <td></td><td>精神障がい</td><td>3名</td></tr> <tr> <td></td><td>重複障がい</td><td>19名</td></tr> <tr> <td></td><td>難病</td><td>0名</td></tr> </table> ○登録介護人 52名【51名】 ○登録介護協力施設 5か所【5か所】 社会福祉法人光友会ひかり作業所、NP0法人ハッピーライフフォーエバー、NP0法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」、NP0法人アビリティクラブたすけあい狛江たすけあいワーカーズなかよし社会福祉法人足立邦栄会 こまえ工房		介護形態別内訳	登録介護人によるもの	101件		協力施設によるもの	13件	障がい別	身体障がい	11名		知的障がい	44名		精神障がい	3名		重複障がい	19名		難病	0名
介護形態別内訳	登録介護人によるもの	101件																					
	協力施設によるもの	13件																					
障がい別	身体障がい	11名																					
	知的障がい	44名																					
	精神障がい	3名																					
	重複障がい	19名																					
	難病	0名																					
	理事会等の開催																						
	○役員会 2回【1回】 ○理事会 3回【5回】 ○評議員会 3回【3回】 ○監査 1回【1回】 ○評議員選任・解任委員会 1回【3回】																						
	情報発信																						
	①ホームページの運用 アクセス数 68,139件【87,504件】 ②ツイッターの運用 ツイッターフォロワー数（令和7年3月末） 1,048件【965件】 ③広報紙「社協だより」の発行 新聞折込3回（No199、201、202） 発行部数 各24,000部【3回 24,000部】 全戸配布1回（No.200） 発行部数 44,500部【1回 45,000部】 法人化50周年、社協だよりNo.200を記念し、こまちゃんグッズがあたるキャンペーンを実施																						
	労働安全衛生関係																						
	○衛生委員会の開催 12回【12回】 ○産業医 加藤 一彦 氏（かとうクリニック）																						

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課市民活動支援係		
市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市委託事業		
①相談機能		
○新規相談件数 170件（個人52件、団体118件） 【338件】		
＜内訳＞		
・ 新規活動相談 33件		
・ 団体運営に関すること（助成金関係含む） 27件		
・ 情報収集 42件		
・ 情報発信 16件		
・ ボランティア・講師等の依頼、問合せ 46件		
・ 寄付・寄贈 4件		
・ その他 2件		
○専門相談		
・ 専門相談会 1回【1回】		
②拠点機能（市民及び市民活動団体への支援）		
○来館者数 1,618名 【5,505名】		
○機材・物品の貸出 プロジェクターやスクリーン等の貸出 0件【6件】		
○回収活動の推進		
使用済みの切手を回収し市民活動の推進のために活用している。		
・ 切手ボラ 全10回 参加者79名 延べ名【全22回 延べ116名】		
出入り自由の参加形式でボランティアを募り、回収された使用済み切手の整理を実施		
○ボランティア保険・行事保険加入取りまとめ		
・ ボランティア保険加入者数 1,709件【1,846件】		
（ 内天災プラン加入数 99件【274件】）		
・ 行事用保険加入申込件数 414件【144件】		
（ 内当日参加対応型加入数 106件【50件】）		
○フリースペースの登録団体優先利用		
※仮移転中のためフリースペース優先利用は中止		
・ イベント利用 0件【10件】		
・ 展示利用 0件【5件】		
○登録団体・登録者数 団体 224団体 個人 138名【208団体 個人137名】		
（うち社会貢献事業所登録 81件【71件】）		
③情報収集・発信機能		
○広報紙「こまえくぼ1234」（33～43号）の発行 各号4,500部発行（うち4回は9,500部）		
※ボランティアによる発送準備、配布協力		
・ 新規配布場所 5か所【2か所】		
・ 読者アンケートプレゼント掲載 4回【4回】		
・ 地域の皆さんと歩む事業所紹介 10回【11回】		
○「こまえがお」の記事掲載		
市民のボランティアによる広報部会において編集・作成		
・ 広報紙「こまえくぼ1234」に掲載 3回（38、39、43号） 【年4回】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課市民活動支援係		
市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市委託事業		
○コマラジ番組出演での情報発信 ・番組名：KOMAE AM フライデーアートサーカス（毎週金曜日8：00～11：00放送） ・番組内コーナー（狛江・生活情報コーナー）で市民活動団体を紹介 市民活動支援センター出演 11回【14回】 市民活動支援センター専門部会等出演 1回【1回】 市民活動団体出演 28団体【31団体】 その他出演 2団体【3回】 ○ホームページ・SNSの活用 ・ホームページ管理 アクセス数 101,049件【133,003件】 ・在宅入力ボランティア 0名【11名】※令和5年度で終了 ・投稿サポーター 0名【4名】※令和5年度で終了 ・登録団体の記事投稿数 306件【328件】 ④交流・人材養成・研修機能 ○夏の体験ボランティア事業 ・はじめてのプログラミング体験(1回) 参加者 6名【18名】 ・もっとプログラミング体験(1回) 参加者 6名【新規】 ○体験ボランティア事業 体験@こまえくぼ まち♡ボラ（7/15～9/10） 参加者81名【20名】 ○保育園・幼稚園との連携 体験・見学等の体験学習実施 18件【17件】（車いす体験10件、手話体験8件） ○小中学校との連携 体験・見学等の体験学習実施 10件【12件】 （車いす体験4件、視覚障がい者体験3件、点字体験1件、多様性理解1件、手話体験1件） ○市民向け講座 ・「賢い消費者のお金のはなしNISAを学ぼう！」（10/24） 参加者30名 ・「ここがポイント やりたいことをカタチにする術」（11/30） 参加者14名 ・「明日何が起きてもおかしくない毎日…その備えで大丈夫？ 自分をまもり、まわりをまもるはなし」（2/1） 参加者51名 ⑤ネットワーク・マッチング ○団体向け講座 ・「プロに学ぶ！写真のちょっとしたコツ&活動の魅力が伝わる簡単動画をつくろう！」 （3/4） 参加者 12団体15名 ○ごはんと居場所連絡会の支援 6回【9回】 ⑥関係機関との連携 ○北多摩南部ブロックボランティア市民活動支援センター担当者会議 4回【3回】 ○介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会 0回【2回】 ○狛江市地域学校協働活動推進委員会 2回【1回】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課市民活動支援係		
市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市委託事業 ⑦その他 ○運営会議 定例会1回【5回】※令和6年度より運営委員会から名称変更 ○専門部会 ・広報部会 ※センターが発行する広報誌「こまえがお」の編集を行う専門部会 活動者 7名【8名】 編集会議 10回【7回】 ・ホームページ部会 ※センターのホームページの活用を推進していくための専門部会 活動者 3名【5名】 会議 5回【9回】 ・体験学習部会 ※体験学習プログラムを検討し推進していく専門部会 活動者7名【9名】 会議9回(イベント・撮影を含む)【11回】 ○こまえくぼ1234フェスティバル(12/15) 1回 参加者1,793名【3回 参加者2,717名】 ・こまえくぼ1234応援隊会議 7回【13回】		
		
第6回こまえくぼ1234フェスティバルの様子		
地域福祉課相談支援係		
地域包括支援センター ※市委託 ○総合相談件数 延 4,773件【4,333件】 うちエリア外対応 延 7件【12件】 ○新規相談件数 延 293件【262件】 ○月平均介護予防給付管理数 118件【113件】(自社作成分) 17件【10件】(居宅委託分) 月平均介護予防ケアマネジメント数 75件【93件】(自社作成分) 9件【7.5件】(居宅委託分) ○虐待対応 実件数 13件 対応数 284件【実件数11件 対応数64件】 ○権利擁護 実件数 47件 対応数 152件【実件数76件 対応数628件】 ※成年後見申し立て支援、消費者被害対応、困難事例対応(サービス拒否、多問題 家族、経済的困窮等)を含む。 ○介護予防普及啓発事業 36回【36回】 内訳 運動 31回【30回】(あいとぴあセンター、西和泉二棟集会室、多摩川住 宅イ号棟集会所) ウォーキング講座 5回【6回】 ○認知症カフェ(KOMA CAFE+) 6回【12回】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課相談支援係		
地域包括支援センター ※市委託		
	○チームオレンジ（Caféひといき） 49回【39回】 ○認知症サポーター養成講座 6回【5回】 ○多世代イベント（こまぱく） 12回【7回】 ○介護者の集い 12回【12回】 ○ケアマネジャー支援 延295件【延317件】 ○民生委員との懇親会・定例会 1回【1回】 ○家族介護者支援事業 2回【2回】 ○実習生受入（慈恵第三看護専門学校） 5名【10名】 ○実習生受入（慈恵医大看護学科） 4名【4名】 ○地域ケア会議（個別ケア会議） 7件【7件】 ○ICTを活用した健康予防事業 0回【3回】 ○ケアマネジャー向け研修 2回【2回】 ○ケアマネジャー向け事例検討会 1回【1回】	
		Caféひといきの様子
あんしん泊江 ※東社協委託事業・市委託事業		
地域福祉権利擁護事業 ※東社協委託事業		
	①専門員配置数 2名【2名】	
	②生活支援員登録者数 15名【11名】	
	③契約者数 新規契約件数 9件【17件】	
	解約件数 9件【17件】	
	契約件数（3月末） 57件【57件】	
	④相談件数（問合せ・継続相談等） 1,833件【1,584件】	
	⑤契約に基づく支援件数 1,259件【1,176件】	
福祉サービス総合支援事業 ※市委託事業		
	①業務担当者配置数 1名【1名】	
	②利用者サポート事業	
	○福祉サービスの利用に際しての苦情対応 0件【0件】	
	○成年後見制度の利用相談 317件【1,056件】 ※今年度から述べ件数から実件数に変更	
	※うち申立支援相談件 62件【185件】 ※実人数19名【29名】	
	○その他福祉サービスに関する専門的な相談 37件【38件】	
	③福祉サービス利用援助事業	
	○対象拡大契約件数 2件【4件】	
	○対象拡大支援件数 20件【24件】	
	○減免対象者の支援件数 73件【45件】	

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
地域福祉課相談支援係		
あんしん狛江 ※東社協委託事業・市委託事業		
	④苦情対応専門相談の設置	
	○弁護士による専門相談	19件【18件】
	⑤あんしん狛江運営委員会	4回【4回】
生活支援体制整備事業 ※市委託		
	○生活支援コーディネーターの配置	1名【1名】
	○社会資源訪問調査	47件【49件】
	○関係機関への周知・情報交換	102件【71件】
	○他市見学・情報交換	3件【7件】
	○個別相談	32件【4件】
	○研修への参加	8回【2回】
	○地域課題検討会議幹事会	4回【4回】
	○地域課題検討会議及び生活支援体制整備協議会	4回【2回】
	○介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会	4回【4回】
	○シニアの生活支援ネットワーク	2回【2回】
ホームヘルプサービス事業		
	①登録訪問介護員等	
	ホームヘルパー 11名【12名】	認定ヘルパー 7名【7名】
	○ヘルパー会議 11回【11回】	
	②総合事業	
	○利用者数 延 327名【381名】	
	○サービス提供件数 延 1,398件【1,664件】	
	○サービス提供時間 延 1,327時間【1,589時間】	
	③認定ヘルパー養成研修(市委託)	
	○実施期間 6/19～6/20 修了者数 9名【13名】	
	○実施期間 10/16～10/17 修了者数 4名【5名】	
	○実施期間 2/19～2/20 修了者数 4名【0名】	
居宅介護支援事業		
	介護支援専門員 2名【2名】	
	○月平均給付管理者数	67名【65名】
	○認定調査受託	7件【2件】
	○東京慈恵会医科大学医学部看護学科実習生受け入れ	4名 4日間【4名 4日間】
	○狛江市地域見守り活動支援対象者名簿登録申込書兼個別計画書作成支援業務	3件【昨年度なし】

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
サービス事業課障がい支援係		
障害者福祉センター ※市委託事業		
①歯科相談 ○開設日数 8日【8日】 ○相談件数 延103件【延97件】 ○相談員 狛江市歯科医師会歯科医 4名【4名】 大中 篤 氏、松本 拓也 氏、小林 佳代子 氏、関谷 弥千 氏 歯科衛生士 2名【2名】 松原 かずみ 氏、和泉 弥生 氏 ○はみがき講習会 実施回数 7回【6回】 参加者数 延89名【延78名】 ○ブラッシング指導 実施回数 24回【22回】 参加者数 延241名【延207名】 ②自立支援総合相談 ※障害者地域自立生活支援センターサポートの項目に記載		
障害者地域自立生活支援センター サポート ※市委託事業		
①支援延べ件数 ※（ ）内はうちピアカウンセリング件数 2,331(388)件【2,504(632)件】 <内訳> ○福祉サービスの利用等に関する支援 1,174(4)件【723(2)件】 ○障害や病状の理解に関する支援 57(14)件【101(39)件】 ○健康・医療に関する支援 196(3)件【330(9)件】 ○不安の解消・情緒安定に関する支援 248(141)件【327(165)件】 ○保育・教育に関する支援 20(0)件【18(0)件】 ○家族関係・人間関係に関する支援 64(0)件【107(6)件】 ○家計・経済に関する支援 44(0)件【73(0)件】 ○生活技術に関する支援 28(3)件【97(39)件】 ○就労に関する支援 56(12)件【49(9)件】 ○社会参加・余暇活動に関する支援 39(3)件【76(12)件】 ○権利擁護に関する支援 37(0)件【94(0)件】 ○その他 368(208)件【509(351)件】 ○ピアカウンセリング ※再掲 388件【632件】 ②社会生活力向上のための支援 ○各種研修・ワークショップ 「障がい者にもわかりやすい金融教育講座」20名 1回【1回】 ○自立生活プログラム 1回 参加者実3名 延13名【5回 実7名 延36名】 ○フリースペース 27回 延124名【26回延101名】 ③地域支援 ○上手いもの市 2回（5月1回・10月1回）出店各9団体【2回出店各10団体】 ○上手いもの市実行委員会 3回【3回】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
サービス事業課障がい支援係		
障害者地域自立生活支援センター サポート ※市委託事業		
④狛江市地域自立支援協議会への参画 ○狛江市地域自立支援協議会 3回【3回】 ○狛江市地域自立支援協議会検討会議 4回【4回】 ○狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス 役員会 12回【12回】 ○狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス 全体会 1回【1回】 ○狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス イベント 1回【1回】 ほこみちで開催した上手いものの市の様子		
障がい者就労支援センター サポート ※市委託事業		
①就労支援登録者 254名 （就労中129名 うち新規就労43名） 【223名 うち就労中111名】 ②相談支援件数 ＜就労支援＞ ・ 職業相談 延1,960件【延1,671件】 ・ 就職準備支援 延 83件【延122件】 ・ 職場開拓件数 延 0件【延40件】 ・ 職場実習 延 2件【延23件】 ・ 職場定着支援 延1,610件【延1,817件】 ・ 離職支援 延 14件【延36件】 ＜中間的就労支援＞ ・ 中間的就労者数 0名【1名】 ＜生活支援＞ ・ 日常生活支援 延 156件【延140件】 ・ 安心して職業生活を続けられるための支援 延 91件【延110件】 ・ 豊かな社会生活を築くための支援 延 89件【延147件】 ・ 将来設計相談 延 2件【延0件】 ＜訓練等実績＞ ・ 委託訓練 延 2件【延1件】 ・ 職場実習 延 3件【延5件】 ＜職場体験実習＞ - 第1回（社会福祉協議会）9/26～10/3 6日間（実習生2名）【6日間2名】 - 第2回（狛江市役所） 11/7～11/13 5日間（実習生1名）【応募者無し】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
サービス事業課障がい支援係		
障がい者就労支援センター サポート ※市委託事業		
③関係機関情報交換会 2回【2回】 障がい者就労支援情報交換会 （参加機関）ひかり作業所、こまえ工房、ワークイン・メイ、パサパ、ワークひなた 狛江市福祉保健部高齢障がい課、ハローワーク府中 ④関係機関会議等 ○東京都障害者就労支援関係機関意見交換会 1回【1回】 ○多摩地域就労支援事業実施団体連絡会議 1回【3回】 ○精神障害者就労支援定着連絡会 0回【1回】 ○多摩就労支援ネットワーク連絡会議 1回【1回】 ○TALANT連絡会議 1回【1回】 ○多摩北部ブロック就労支援を考える会 2回【1回】 ○全都ネットワークの会就労選択支援事業勉強会・情報交換会 1回【新規】 ⑤講演会・セミナー <ミニ講演会> ○就労促進ミニ講演会「長く働くために知っておきたい職場での人間関係（10/12）」 参加者7名【16名】 講師：山本 良典 氏（東京都心身障害者福祉センター職員） <障がい者就労理解を促進するための市民向け講演会> ○障がい者就労促進講演会・企業見学会（3/13、27）参加者 7名【9名】 企業見学会先：パーソルダイバーズ株式会社 目白第二オフィス <障がい者就労促進講演会> ○障がい者就労促進講演会（3/1）参加者 17名【12名】 登壇者：サポート登録者：望月 敦史 氏（日本アクセス株式会社勤務） <就労アカデミー> 1回目：就労準備のポイント①（8/2） 参加者 12名【13名】 2回目：就労準備のポイント②（8/9） 参加者 9名【11名】 ⑥地域開拓促進コーディネーター配置 ※職員未配置のため企業等の開拓以外実績なし。 ○個別相談支援件数 ・就労相談 延 0件【延 87件】 ・職場開拓件数 延 0件【延 40件】 ・登録者の職場定着支援 延 0件【延 57件】 ○就職希望者、企業の掘り起し ・企業訪問件数 延 0件【延 31件】 ・福祉施設訪問件数 延 0件【延349件】 ・見学会等への参加 0社【6社】 ※地域開拓促進コーディネート業務として、上記件数に次の中間的就労（短時間雇用） 開拓のための活動件数を含む。 ・求職者の就労相談件数 延 1件【27件】 ・企業等の開拓件数 延 3件【 8件】		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
サービス事業課障がい支援係		
特定相談支援事業		
○利用契約者人数（3月末）	特定相談	154名【133名】
	児童計画相談	47名【35名】
○サービス等利用計画作成件数	特定相談	126件【229件】
	児童計画相談	48件【108件】
○モニタリング件数	特定相談	451件【951件】
	児童計画相談	140件【317件】
○相談支援事業所連絡会への参加		24回【24回】
一般相談支援事業		
①地域移行支援事業		
○地域移行支援画作成件数		0回【0回】
②地域定着支援事業		
○地域定着支援台帳作成件数		0回【0回】
福祉有償運送事業		
○利用登録者数	38名【49名】	
○運行回数	延1,497件※うち児童送迎は延507件	【延1,512件※うち児童送迎は延556件】
サービス事業課早期療育係		
あいとぴあ子ども発達教室“ぱる” ※市委託事業		
○通所児童 定員	80名【80名】	
	実利用人数	43名【49名】
	通所人数（集団・プール療育）	延1,451名【延1,397名】
○開所日数	234日【242日】	※集団・プール療育実施回数 323回【333回】
○新規利用開始児童	12名【16名】	
○個別指導（個別療育）		
	言語療法189名【164名】	理学療法53名【34名】 作業療法151名【164名】
○ペアレント・トレーニング	30回延91名【15回 延63名】	
○保護者情報交換会、おしゃべり会、懇親会	3回【15回】	
○心理相談	16名【16名】	
○保護者相談・面談	124件【154件】	
○保護者参観日	15回【39回】	
○関連機関連携会議、連絡会等	24回【18回】	
○利用希望者見学・体験	33件【37件】	
○初回面談（利用契約）	11件【16件】	
○幼稚園、保育園訪問	10件【12件】	
○市民からの利用相談、問い合わせ	15件【延36件】	
プロジェクトチーム等		
小地域福祉活動の推進		
①岩戸地域ネットワーク活動の支援		
○岩戸地域福祉推進委員会 全体会	3回【3回】	
○お茶のみ会	12回	参加者延573名【延336名】

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
プロジェクトチーム等	プロジェクトチーム等	
	小地域福祉活動の推進	
	②猪方駒井地域ネットワーク活動の支援 ○猪方駒井地域福祉推進委員会 全体会 1回【1回】 ○おしゃべりサロン 12回 参加者延890名【12回 延655名】 ③野川地域ネットワーク活動の支援 ○野川地域福祉推進委員会会議 11回 【12回】 ○サロン野川 11回 参加者延599名【11回 延354名】 ④和泉地域ネットワーク活動の推進 ○“サロンいずみ”をささえる会への支援（中和泉5丁目） ・サロンいずみ 10回 参加者延109名【10回 延80名】	
	災害時の対応	
	○災害対応検討プロジェクトチーム会議 3回【0回】 各部署から選出された6名の職員で構成されているプロジェクト ○災害ボランティアセンターの周知活動及び災害に関する勉強会 2回【2回】 ・ペガサス全体会(11/9) 狛江市地域自立支援協議会の「当事者部会ペガサス」と協働で、地域に住む障がい者と民生委員や青年会議所といった地域の支援者が懇談する機会を設け、障がい者の災害に対する意識や意見を障がい当事者から話してもらい、他の参加者がその意見を聞いて自身の考えや思いを共有した。 ・こまえくぼ市民向け講座(2/1) 東京ボランティア・市民活動センター等による災害時支援の講座や、避難所運営協議会による避難時の動きに関する机上訓練を実施した。 ○災害ボランティアセンター設置運営訓練・その他訓練の参加 2回【0回】 ・福祉避難所等開設訓練(1/18) 狛江市が主催する訓練として、福祉避難スペースと福祉避難所の開設訓練と、福祉避難スペースから福祉避難所へ、障がい者（身体、知的、精神）を車両によって移送する訓練を実施した。 ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練(3/12) あいとぴあセンター内の部屋に災害ボランティアセンターをコンパクトにしたレイアウトを作り、運営の手順や実際の動き方について確認した。併せて、災害対応検討プロジェクトとして1年間の活動に関する共有と、災害ボランティアセンターの運営マニュアルについて確認を行った。	

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
プロジェクトチーム等		
おたのしみスローショッピング事業（試行事業）		
○おたのしみスローショッピング（令和7年2月21日） 1回 参加者3名【新規】 協力 イトーヨーカドー国領店		
地域福祉活動計画の推進		
①地域福祉活動計画策定委員会 1回【4回】 （令和7年2月12日） ②地域福祉活動計画策定委員会プロジェクトチーム 6回【新設】 （令和6年6月27日、7月17日、8月20日、9月9日、10月7日、12月9日）		
フロア改修の検討		
令和6年10月21日フロア改修終了及び事業成功に伴いプロジェクトチーム終了解散		
①プロジェクト会議 10回【10回】		
②人材育成・人事評価制度等検討PTと合同説明会 1回（5月9日）		
③フロア改修説明会（係長職向け） 1回（7月2日）		
④改修作業 7月29日 職員によるフロアカーペット張替え作業開始 8月1日 見切り板の設置 8月26日 グループアドレス化に伴う無線LAN設置作業 9月9日 電話移設作業 9月20日 職員による備品振り分け作業 9月21日 業者によるフロア改修作業		
		
		改修後のフロア
		
		職員によるフロア改修作業の様子
人材育成・人事評価制度等の検討		
地域福祉活動計画に基づき「社協の人づくり・組織づくり」を推進するため、各部署から選出された職員からなるプロジェクトチームを編成し、令和6年度は主に人材育成に関する検討を行った。その結果、新たな研修制度を導入するとともに、職員の階層別キャリアマップの作成に取り組んだ。		
①プロジェクト会議 16回【17回】		
②社内連携研修 4回【新規】		
③新任職員研修（新体系） 1回【新規】		
④キャリアマップ作成ワークショップ（階層別） 8回【令和6年度新規】		
⑤外部研修（サブスク型オンライン研修）の導入		

課・係	事業内容	【 】内は令和5年度実績
プロジェクトチーム等		
広報活動		
①広報紙「社協だより」の発行 ※再掲 新聞折込3回（No199、201、202） 発行部数 各24,000部【3回 24,000部】 全戸配布1回（No.200） 発行部数 45,000部【1回 45,000部】		
②法人化50周年記念企画「協賛店を利用して、こまちゃんグッズをあてよう」 当会の全協賛店の協力を得て、対象期間中に協賛店で購入したレシートを添付して応募すると、こまちゃんグッズが当選する企画を実施した。 ○募集期間 7月1日～8月31日 ○応募者 延107名 ○当選者 計51名		
③マスコットキャラクター出演 法人化50周年記念式典・赤い羽根共同募金運動・歳末助け合い運動、 市民まつり等 9回 【3回】		
その他		
狛江市社会福祉法人連絡会への参画		
市内7つの社会福祉法人が加盟		
①福祉なんでも相談窓口		
②フードドライブ事業への協力 加盟7法人11事業所（1/14～1/28）で回収した食品143.1kgをNPOフードバンク狛江に寄贈した。		
実習生受入れ		
ソーシャルワーク実習 0名【1名】		